

むらかみ

市議会だより



第59号

令和2年5月15日



第1回定例会

施政方針・予算への「代表質問」……	2～3ページ
市政を問う!!13人が一般質問 ……………	4～11ページ
委員会の審査報告……………	12～14ページ
議決結果……………	15～17ページ
高校生と議会の懇談会……………	18ページ
議会改革調査研究特別委員会 最終報告……	18ページ
閉会中事務調査……………	19ページ
インタビュー……………	20ページ

市民の宝 輝く瞳

議論が白熱 模擬議会を体験
(村上小学校6年生)

2月7日、村上小学校から社会科の学習の補充・深化として「むらかみ出前講座」にお申込みいただき、模擬議会を開催いたしました。

当日は、「卒業式後の謝恩会の内容」を議題とし、市長役の児童が企画内容を提案。議員役の児童たちから質疑、各グループでの話し合いの後、討論になると「議長!」と大きな声とともに発言を求める児童が何人も続き、追加議案も上程されるなど白熱した議論が展開されました。

の施策を質す

令和2年度施政方針・予算を代表質問



令和2年度の予算規模は、一般会計総額で321億円。事務事業を見直し将来に向けた持続可能な行政運営を進めるとして、市総合戦略に基づく事業の選択と集中により、前年度を4億6千万円下回りました。

毎年、3月定例会では、新年度の施政方針・予算案に対し、各会派からの「代表質問」が行われます。質疑応答の時間は、会派の所属人数によって配分されます。

(新年度予算案に対する委員会審査の主な内容は、12～14ページをご覧ください。)

※質疑の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

問 村上牛の出荷について、平成26年度は376頭を出荷し、第1次村上市総合戦略では令和元年度415頭を目標値としているが、過去4年間の実績では300頭前後で推移している。達成できるのか。

村上牛ブランドを守れ



新政村上 長谷川孝 議員

答 平成30年度実績で309頭が認可された。ブランドを維持するには、胎内市と合わせて出荷頭数500頭が必要となる。早急に繁殖肥育一貫施設を整備する必要がある、生産者と意見交換している。

問 生産者数の現状と今後の対策として考えられることは。
答 現在19生産者がいるが年々減少している。素牛の高騰と飼料の高止まりが課題で、繁殖肥育の一環施設整備などによりコスト低減を目指す。

(質問時間 45分)



鷲ヶ巣会 板垣一徳 議員

本庁舎建替に基金の創設を

問 厳しい財政状況の中、当初予算編成にあたって、特に留意した点は何か。

答 これまで顕在化している課題を踏まえて、市民一人ひとりに直接届く政策と、本市が持続していくための行財政

運営の在り方を総合的に勘案して、予算編成にあたった。
問 本庁舎は築46年となる。耐震化は済んでいるが、いずれは建て替えが必要であり、その財源を考えれば、早い時期にその為の基金を創設すべきではないか。

答 全国市長会で、公共施設の長寿命化への有利な制度を国に働きかけているが、財源確保へ基金創設は有効な手段であり、今後の庁舎の在り方と併せて考えていきたい。

(質問時間 54分)

6会派 新年度

公共施設の在り方は



清流会 小林重平 議員

問 本市には野球場、体育館が各5カ所、総合グラウンド4カ所があるが、老朽化が進み、維持管理費の負担が大きくなる。今後の在り方は。

答 公共施設の存在意義を社会情勢の変化を踏まえ改めて

検証しなければならず、現在公共施設全般にわたって見直しを行っている。今後の持続可能な財政運営を見極めた上で考えていきたい。

問 本市の重要な産業である農林水産業の後継者がいない。子どもたちが農業、林業、漁業の大切さを授業で学べるような取り組みは。

答 小・中学校では総合的な学習等の中で農家や関係団体の皆さんと関わっており、今後大切にしていきたい。

(質問時間 45分)

災害の発生を未然に防げ



市政クラブ 小杉和也 議員

問 令和2年度も滝矢川の整備を行うがどのような整備で、進捗状況はどうか。

答 緊急自然災害防止対策事業債を使って整備を少しでも前に進めたい。半分くらいの進捗になる。

問 国土強靱化村上市地域計画の策定を進めているが、塩谷の海岸浸食のことは登載されるのか。

答 塩谷の海岸浸食は県事業との関連があるので、県とも協議していく。

問 今年度の施政方針には、休日などに親子で遊べる場所は閉校となる学校を活用すると書かれていたが、新年度はなぜ記載されてないのか。

答 現在、政策的に進めているので、記載しなかった。

(質問時間 34分)

村上駅周辺整備は



高志会 尾形修平 議員

問 本年12月1日に村上総合病院が開院となるが、村上駅周辺整備計画の核となる病院跡地の利活用については未だに示されていないが今後のスケジュールも含めて伺う。

答 厚生連からは、令和5年

度を目途に解体整地を行う予定であるとの連絡を受けている。その時期までに市としての方向性を示したい。

問 本市でも老朽化が進み使用していない施設が数多くあるが、他自治体でも行われている、解体条件付き譲渡やお金を付けてでも譲渡するいわゆるマイナス譲渡と言う制度を本市でも実施できないか。

答 制度に関しては承知している。今後様々な角度から検討していきたい。

(質問時間 38分)

安心な未満児・幼児保育を



日本共産党 稲葉久美子 議員

問 ここ2、3年の間に未満児と病児・病児後保育が充実した。佐藤医院では昨年末から病児・病児後保育が始まり、今後新村上総合病院や村上記念病院でも予定されている。一方、未満児保育について、

途中入園は可能か。

答 面積要件や保育士不足で受け入れできないところもあるが、可能のところもある。

問 高齢者が運転免許証の返納に戸惑っている。買い物や通院だけでなく公民館事業など生きがいづくりにも公共交通は重要。検討状況は。

答 バス等が運行していない地域では、早いタイミングで新たな公共交通を提供、検証し、持続可能なシステムになるよう取り組む。

(質問時間 34分)

市政を問う!!

13人が
一般質問

2月28日、3月2日・3日の3日間の日程で行われた一般質問に13人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順に掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

一般質問 (1)

1 河村幸雄議員 5

1. 地域防災力向上について
2. 今後の部活動の在り方について
3. 積極的な企業誘致活動について

6 高田 晃議員 7

1. オリンピックイヤーを好機とした、本市の諸施策について

11 稲葉久美子議員 10

1. 国民健康保険税について
2. 小・中学校の給食費無償化について

2 竹内喜代嗣議員 5

1. 洪水対策について
2. 耐震工事について
3. パワーハラスメント対策の実施について
4. 合併時の職員賃金格差についての合意事項について

7 渡辺 昌議員 8

1. 災害対応及び防災の取組について
2. 友好関係にある自治体との交流について
3. 小学校の英語教育について

12 鈴木いせ子議員 10

1. 新村上総合病院開院に向けた進捗状況について
2. 令和2年度の米政策について
3. 国民健康保険医療費通知書について

3 川村敏晴議員 6

1. 森林環境税及び森林環境譲与税の活用について
2. 本市のスポーツ行政や健康維持促進政策と総合型地域スポーツクラブの運営について

8 山田 勉議員 8

1. のりあいタクシーの運行について
2. 新型コロナウイルスへの対応について
3. 瀬波温泉の活性化に向けた旧香藝の郷美術館の活用について

13 長谷川孝議員 11

1. のりあいタクシーの利用状況について
2. 新潟県村上市・胎内市沖における洋上風力発電事業の取組について

4 平山 耕議員 6

1. 建設作業員週休2日制への取組について
2. 本市における整備済みインフラのメンテナンスについて

9 嵩岡輝夫議員 9

1. 観光振興と旧香藝の郷美術館の利活用について
2. 村上市の洋上風力発電事業の取組について
2. 地方自治における二元代表制について

一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めるものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

5 大滝久志議員 7

1. 林業・木材産業の活性化について
2. 持続可能なまちづくりについて

10 木村貞雄議員 9

1. 今年の稲作と少雪による水不足等の諸問題について
2. 介護予防について
3. 今後の部活動について
4. ほ場整備等で残された道路・河川の整備について

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や、市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。



村上市 議会中継
<https://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/gikai-chukei.html>



クリック!!

積極的な企業誘致活動を



河村 幸雄 議員

問 地域防災力の向上へ、洪水ハザードマップの活用を伝えるための説明会をどのように進めていくのか。

答 本年3月中に完成し、5月に全戸配布を実施し、市内各地域での住民説明会を開催、家族の話し合いで決める「マイタイムライン」作成のための出前講座の開催も準備している。

問 高齢者等の避難行動要支援者の避難誘導の計画、体制、組織は。

答 昨年6月の地震の際、津波に対する避難行動の中で大きな課題として顕在化した。避難行動要支援者支援計画の策定作業を進める。

問 防災士の活動の更なる推進のため、本市の取り組みは。

答 これまで養成講座の費

用負担やスキルアップ講座開催による支援を行ってきた。地域防災力向上のため具体的な活動への支援を検討したい。

問 積極的な企業誘致活動について現在の取り組みは。

答 市内の企業訪問を随時行いながら企業の情報収集を行うとともに、新たに進出する企業向けの対応として空き土地、空き工場の把握にも努めている。本社のある首都圏への企業訪問を実施しており、積極的トップセールスを行っている。また、既存企業の事業拡大を促し、今年度7社が企業設置奨励条例の指定を受けて事業拡大を行っている。日治道の全面開通は山形・秋田方面からの誘致を可能とする非常に大きなインパクトである。



村上の魅力を企業へアピール



最大浸水を想定した避難計画の策定を

問 三面ダムと奥三面ダムは事前放流ができない構造のため、ダム緊急放流で貯まった水が、七湊から岩船三日市まで湛水するのではないかと、また、バックウォーター現象で朝日地区や山辺里地区で洪水になり、災害拠点病院や村上駅は浸水により全く機能しなくなるのではないかと。

答 三面ダムおよび奥三面ダムについては、ご指摘のとおり、事前放流を実施することできない施設である。災害時には速やかに避難することが命を守ることに結びつくので、マイタイムラインを多くの市民の方作成していただけるよう取り組んでい

く。厚生連村上総合病院は現工事の中で最大限に考慮した整備を進めていると伺っている。

問 合併特例法第9条第2項において「新設合併の場合は、合併関係市町村の一般職員の任用制度、給与その他の勤務条件について事前に十分検討・協議を重ねた上で、新しい市町村の発足後の任用制度、給与その他の勤務条件に関して、職員の全てに通じて公正に取り扱われるように取り決める必要がある」という解釈があるが市長の見解を伺う。

答 合併特例法第9条第2項は平成17年3月に廃止されているが、ここに規定されていたとおり、市町村の合併時における職員の任免、給与その他の身分に関しては、職員の全てに通じて公平に取り決められており当然であると認識している。



竹内喜代嗣 議員

洪水によるダム放流に備えを

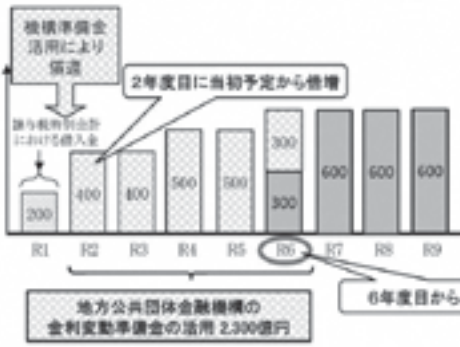
都市の森林譲与税を取り込め

問 昨年4月施行の「森林環境譲与税」の交付額は。また、次年度から全体で200億円の増額となるが、本市への交付額の見込みは。

答 令和元年度の交付額は総額で3414万円が見込まれ、次年度からは倍増となる見込みである。

問 本市には閉校した学校施設や優秀な林業技術者があり、林業技術を学ばせる林業大学校か林業アカデミーを新潟県で最初に設立し、全国から人呼び込むべきではないか。

答 本市は県内最大の森林面積と素材生産量を有し、日沿道朝日温海道路も事業化され、林業大学校や林業



令和2年度から倍増される森林環境譲与税 (総務省自治財務局資料より)



川村 敏晴 議員

アカデミーを誘致する環境が整っていることから、本市内に設置するよう県に要望していく。

問 都市部の自治体が森林環境譲与税を活用するには、森林のある自治体との共同事業が不可欠と思うが、同税を取り込むための施策は。

答 本市では三面川源流域の森林を「さけの森林」として、整備・保全活動に都市部の親子などに参加してもらい、市民との交流や本市の森林整備に都市部の同税を使ってもう取り組みを検討している。

問 総合型地域スポーツクラブの健全運営に市の支援が不可欠だと思いがいかがか。

答 スポーツ振興、健康づくりを推進する上で重要な役割を担っている組織なので、引き続き行政とともに両輪となって取り組んでもらいたい。

建築作業員 週休2日制を



平山 耕 議員

問 新潟県は、建築業の完全週休2日制(土日現場閉所)の取り組みとして、平成28年度から施工者希望型の試行を開始した。しかし、現在制度を導入した市町村は、新潟市、上越市、糸魚川市の3市にとどまっている。北陸地方整備局管内では、昨年週休2日制推進に向けた取り組みとして、各発注機関が連携し、ゴールデンウィーク期間(10連休)の現場閉所を実施した。結果として491カ所の工事のうち、430工事で10連休を達成した。

問 本市での取り組み状況は。

答 最近の若い方が職業を選択する条件として、高い賃金よりも休日の確保を優先する傾向が強くなっている。建設作業現場では週休



橋梁点検の様子

2日取得が進んでおらず、若年労働者をはじめとする担い手の確保や育成を進める上で課題となっている。市発注工事では制度を導入することにより、工期が延び技術者の配置期間が長くなることや、下請業者との調整や天候の状況等綿密な工程管理が求められることから、地域の実情を踏まえ検討を進めていく。

問 本市におけるインフラのメンテナンスについての取り組みは。

答 平成26年から昨年度までに市道における橋梁、トンネル、横断歩道橋について1巡目の点検を終え、橋梁については補修工事等12橋、架け替え工事等3橋を実施した。今年度から2巡目の点検を開始している。

林業木材産業の活性化を



大滝 久志 議員

問 村上市の林業・木材産業は、これまで長期にわたる木材産出額や林業所得の減少等で厳しい状況に置かれてきたが、近年、大型製材工場や合板工場（CLTを含む）の整備、公共建築物の木造・木質化が促進している。

答 林業は、森林資源を「植える―育てる―使う―植える」というサイクルで循環利用し、継続的に木材等の林産物を産出する産業である。村上市においては、人工林の50%を超える森林が50年以上となり、森林資源が充実し使う時期となっている。大型製材工場や合板工場（CLT等）の整備が必要と思うがどうか。



充実した森林資源を活用し林業・木材産業の振興を

集中、合板生産に占める国産材の割合の上昇等の動きがみられる中で、安定的かつ効率的な原木調達課題となっている。

また、CLTと呼ばれる直交集成板普及については、これまで木材があまり使われてこなかった中大規模の建築物などに用いることにより、木材の新たな需要や新しい産業分野の創出が期待されるものとして、地方創生の一方策としても大きな期待が寄せられている。

大型製材工場や合板工場が整備されることにより、森林資源の活用や雇用の創出も期待されることから、林業関係団体等と意見交換を行いながら、工場誘致についてさまざまな角度から検討をしていく。



年々増加する外国人観光客

問 東京オリンピック・パラリンピックには、多くの外国人の来訪が見込まれているが、本市でのインバウンドの取り組みや誘客促進に向けた情報発信策は。

答 平成28年度から外国人ライターを招聘し、村上の魅力を情報発信している。また、日本海きらきら羽越観光推進協議会でも広域連携し、インバウンド向けに情報発信している。

問 外国人ライターは具体的にどのようなことをするのか。

答 現在、オーストラリア、フランス人のライターが、通常の観光地の紹介だけでなく、町並みや風景など、村上ならではの魅力を取材した記事

を、SNSを活用して自国へ情報を発信している。

問 SNSを活用したPRは効果が期待できることから、全国各地で競い合っている。村上市でも観光資源をブラッシュアップしてインパクトのある情報発信してもらいたい。また、過去の五輪開催国の例をみても開催後にインバウンドも減少する傾向がある。ぜひ、今年は訪日外国人のリピーター確保に努めることが大切だと思うが。

答 村上市では、これまで欧米諸国をターゲットにした取り組みを行ってきた経緯があるが、著名なインフルエンサーによって全世界に情報が発信されることもある。スケートパークに來た外国人選手からも情報広がっており、こうしたことが国際間交流に結びつくと思う。



高田 晃 議員

オリンピックを好機に発信

地域の防災力強化へ対策は



山北地区の市指定緊急避難場所38カ所の一つ
「福祉センター山北ゆり花会館」

問 山北地区で大きな被害が出た昨年6月の地震の際、自主防災会が行った対応は。また、今後の活動の課題となるような事例はあったか。

答 特に海岸沿いの地域で、津波に対する避難への呼び掛け、また、高齢者宅等への避難の確認や安否確認が行われた。その際、災害の危険から命を守るために緊急に避難する「指定緊急避難場所」の周知不足が課題となった。また、災害発生の間帯によって、避難確認や安否確認などの対応が困難となる場合があることも課題として挙げられる。現在、それぞれの地域に対応した津



渡辺 昌 議員

波避難計画を策定するため、自治会の役員や住民との協議を進めているところである。

問 消防団の団員確保が難しい状況となっているが、今後の団員確保への対策は。

答 現在、消防団幹部とも協議しており、部の統合など定数の見直しを含めた組織の再編と併せ、新たに消防団OB等が火災出動など限定業務にあたる機能別団員制度の導入を検討している。令和2年度中に、定数の見直しを含めた再編計画をまとめる。

問 消防団と自主防組織の連携についての考えは。

答 連携によって災害時の迅速な対応が可能と考える。日頃から連携基盤を構築する取り組みが必要であり、今後は連携強化を図っていく。

のりあいタクシーの改善を



山田 勉 議員

問 のりあいタクシーの運行について、胎内市の「乗り合いタクシー」は、1時間前までに電話予約すれば、土日祝日を問わず毎日買物や病院、温泉など大変便利で、利用料金も300円である。村上市でも隣の胎内市を参考に、市民の目線に立った改善を期待するが。

答 路線バス等との役割分担を図り共存していかなければならないので、胎内市のようにどこでも乗降できるようなエリア設定による運行や一律料金の制度設計になっていないが、今後地域に適した生活交通のあり方を検討していく。

問 新型コロナウイルスへの対応について、感染拡大が連日報道され、その対応



胎内市の乗り合いタクシー

が深刻な状況にあると思う。高齢者が入所している介護施設などの指導は急がれるが対応は。

答 特に、高齢者や基礎疾患のある方などは重症化しやすい。国・県から示される通知の情報提供や感染症対策の徹底の呼びかけを行っている。

問 瀬波温泉の活用に向けた旧香藝の郷美術館の活用について、土地、建物購入して2年が過ぎたが、その進捗状況は。

答 越後村上物産会や地域の団体の協力を得てお弁当等の販売を行った。また、市民と観光客の交流の場としての検証を期待したクラフトイベントの開催の申し込みなど施設利用の相談もあり、今後の実施に向けて協議していく。

「瀬波温泉の活性化」は



高岡 輝夫 議員

問 旧香藝の郷美術館の活用についての進捗は。

答 当面は、モニター検証事業の取り組みを継続する等、利用希望者の使用用途により施設提供をしている。

問 瀬波温泉は、暖冬、新型コロナウイルスの影響等、厳しい経営環境にあるが、県の信用保証協会の保証付きの融資では諸々の手続きが必要となる。そこで、市独自の融資・補助金等の緊急支援が必要と思うが。

答 制度設計は着手している。ので、検討を進めていく。

問 特に瀬波温泉の活性化のために、「活性化」という言葉だけでなく「瀬波温泉活性化推進委員会条例」を制定し、法的裏付けのある施策をする意思はあるか。

答 研究させていただいた



購入から2年経過し、活性化のために早急な利活用を

いが、条例を設けるまでもなく、しっかり取り組みたい。

問 「洋上風力発電」について、国の促進区域の指定を目指し、本県が開催している研究会等の現状は。

答 本県では、洋上風力発電をさらに促進するため、新潟県洋上風力発電導入研究会を設置している。沿岸部市町村として本市も参画している。

問 二元代表制の議会の役割は首長、執行機関を監視、評価するとともに、首長・執行機関と切磋琢磨する役割を担うことであるが、村上市は二元代表制が充分機能しているか。

答 必要な情報提供を行い議員の意見を踏まえ行政運営に当たっている。

介護予防の拡充を



これからの長寿命化を目指して

問 介護予防事業の主な取り組みと今後の課題は。

答 町内や集落で行う運動をメインとした転倒予防教室の他、認知症予防の教室や市全体で行う水中運動教室、また男前健康運動教室等を総合型地域スポーツクラブ等に委託し実施している。事業によっては参加者の固定化が見られることや移動手段に課題があると感じている。

問 転倒予防教室の現況は。

答 本年1月末現在では、98力所、延べ9076人が参加している。

問 高齢化が進むと課題となる移動手段の解決が必要ではないか。

答 この地域でも高齢者の移動手段の確保が課題となっている。これまででは効率性を考え、中心部に集めて事業を行ってきたが、今後は歩いて通える町内や集落を単位とした取り組みに重点を置いていく。

問 地域の茶の間について、各地区の設置数や開催回数を調べると、山北地区だけが極端に設置数が少なく8力所になっている。これは小さい集落まで茶の間の活動が行われなくて格差があるように思うがいかなるものか。

答 市民に対する介護予防のメニューに対して、格差はないものと思う。結果として集まりやすい区域の設定として8力所であると思う。社会福祉協議会のメニューだけでなく市の事業においても参加しやすい環境づくりを進めていきたい。



木村 貞雄 議員

国保の予防事業を積極的に



待っていた学校給食

問 国民健康保険への加入世帯数は、被保険者数は8179世帯で、全世帯の36・1%。うち被保険者資格証明書（診療費10割負担）の発行が81世帯、104人。短期被保険者証の発行は169人である。

問 被保険者資格証受給者で慢性的な病気である腎臓病、糖尿病、高血圧を患っていた方が、医療費等の支払いが負担で受診できずに薬の服用を中断、脳梗塞を発症した。国保税は今から1年前に年金受給者となり天引きされて支払っていたが、国保税滞納分があり正規の保険証は発行



稲葉久美子 議員

されていなかった。丁寧な説明と支払計画が重要ではないか。

答 病気等特別な事情があれば短期被保険者証を交付している事例もあるので、早めに納税相談で相談してほしい。

問 子どもの貧困が大きな問題となる中で、地域団体による無料・定額の子ども食堂や朝食を提供する取り組みが広がっている。そのような活動に取り組み団体の約6割が資金不足の問題を挙げている。

しっかりと地域に根差した支援ができるよう、また子どもたちの体力・気力を付けるためにも、小・中学校の給食費無償化を実施する考えは。

答 食事であると捉えると食料費用を給食費として公平に負担していた必要がある。いろいろな意見があり検証をしていきたい。

村上総合病院開院に向けて



鈴木いせ子 議員

問 医師確保の取り組みは、令和6年度から導入される「医師の働き方改革」などにより将来的な医師の確保についても、更に厳しさを増すことが想定されており、新潟県厚生連に対して最大限の人員確保策を講じていただくよう強く要望している。また県内外からの医師の確保にも努めていただいている。

問 新病院へのアクセス道路の整備と交通手段はどのようにになるか。

答 本年12月を目途に、周辺道路、地区幹線道路の整備を行っている。県においては地区幹線道路につながる松山バイパスの整備を最優先に進めている。また、交通手段については、小岩井線、松喜和線、岩船



建設中の松山から新村上総合病院へのアクセス道路

駅前線、寒川線の路線バス全便と北中線、塩野町線、大須戸線、高根線、縄文の里朝日線の路線バスを各2便程度を、病院経由の運行として最終調整している。運行経路、運行時刻などは、しばらく時間を要するが、遅くとも9月頃から周知できるように手続きを依頼している。

問 市で設置する救急ワークステーション・病児・病後児保育の体制は、救急ワークステーションは、消防署防災安全室の業務に組み入れ、職員9人と救急自動車1台を配備し、3交替で24時間救急出動を担う。病児保育センターは令和2年12月に開所し、開所と同時に、指定管理者制度を導入することとしている。

のりあいタクシーは公平に

問 交通空白地域・不便地域の解消と高齢者等の通院対応を目的に、各地区でのりあいタクシーが運行されているが、岩船地区では運行されていない。その理由は何ですか。

答 のりあいタクシーは、路線バスが運行していない地区や本数が少ない地区を対象としており、岩船地区に関しては、平日10往復以上の路線バスが運行していることから、競合を避けるため運行していない。

問 岩船地区では路線バスが運行している反面、不便を感じている高齢者、特に女性が多くなってきた。岩船地区の路線バスでは、松喜和線が殆どを占めているが、その神林地区松喜和で通院対応のりあいタクシー



長谷川 孝 議員



のりあいタクシー(ステッカー表示)

が運行している。そして、この路線の停留所がある瀬波地区緑町でも通院対応のりあいタクシーが運行されている。

路線バスを運行している理由で、岩船地区でのりあいタクシーが運行されないのは到底納得できない。バス停まで歩くことも大変になってきている高齢者の事情も含め、特に通院対応のりあいタクシーの運行を早急に検討して不公平感を払拭してほしいが。

答 行政区域で線引きしなければならぬためこのような状況になったが、岩船地区の事情を検証し改善に向けて検討する。

議長交際費の支出状況

村上市議会では、「村上市議会議長交際費の支出基準」を定め、議長交際費の適正かつ公正な支出に努めています。令和元年度の議会交際費の支出状況は次のとおりです。各月の支出内容につきましては、市議会ホームページ（「村上市議会議長交際費」で検索）をご覧ください。（単位：円）

項目 月	祝儀	会費	弔慰	見舞い	接遇	贈答	その他	月計
4月		17,733	10,000					27,733
5月		24,943						24,943
6月		17,234	26,000				11,000	54,234
7月			10,000			5,184	53,000	68,184
8月		10,000						10,000
9月		4,233		5,000				9,233
10月		37,000	26,500	10,000	3,886	73,071		150,457
11月		14,312	10,000			19,928		44,240
12月		17,156	10,000					27,156
1月		8,624	20,000					28,624
2月		32,000						32,000
3月			26,500					26,500
合計		183,235	139,000	15,000	3,886	98,183	64,000	503,304

祝 儀：記念式典、総会、行事などへのお祝いに係る支出
会 費：記念式典、総会、行事などへの参加に係る支出
弔 慰：議会関係者などに対する香典などに係る支出
見舞い：議会関係者の病気などに対する見舞金、災害などによる見舞金に係る支出

接 遇：議会への来客贈りなどに係る支出
贈 答：議会運営上必要な相手への贈答に係る支出
その他：市花火大会協賛花火代等

委員会の審査報告

◎は委員長
○は副委員長

総務文教

◎鈴木いせ子 ○小杉 武仁
鈴木 好彦 高田 晃
小杉 和也 板垣 一徳
高岡 輝夫 佐藤 重陽

◆関川村との定住自立圏形成協定の変更締結について

問 若者の地域間交流による定住人口の促進として婚活事業を実施していたのですが、それが人口減少対策の連携強化に変わったのですか。

答 婚活事業を3年間実施した結果、成婚数は1組でした。民間でも婚活事業が多く行われていること、単発のイベントよりも長く関わりを持ちながら自然とカプルになるような仕掛けづくりも必要などから、関係人口の拡大に取り組むこととしました。

◆村上市史跡村上城跡整備委員会条例制定について

問 村上城跡保存育英会も史跡の管理が難しくなってきた



国の重要無形民俗文化財に指定された村上祭の屋台行事

いると聞いていますが、今後の管理について相談や協議はされていますか。

答 年間2回程度ですが、定期的に意見交換をしていますし、今後も情報交換をしていきたいと考えます。

◆村上市村上祭保存修理委員会条例制定について

問 村上まつり限定の条例となりますが、オプザーバー的に他地区の方が傍聴すること

歴史と伝統を守り伝える

は可能ですか。

答 傍聴については委員会の

中で判断されることになりませんが、瀬波まつりや岩船まつりなどの関係者と情報共有を考えています。

元年度一般会計補正予算

【歳入】

・繰入金

問 義務教育施設設備整備基金から繰り入れをしていますか、基金残高は。

答 本年5月末の見込みで、6億3613万3千円の予定です。

・国庫支出金

問 小中学校のタブレット型

問 子ども・子育て支援臨時交付金の算出方法は。

答 保育料無償化の関係で、消費税増税分を臨時的に交付するものですが、詳細は示されていません。

・国庫支出金

問 へき地児童生徒援助費等補助金が増額となっていますが、その理由は。

答 学校統合後の5年間は、スクールバスの補助金対象となるため、神林地区のスクールバス整備に活用します。

・総務費

すか。

答 消防費では計上していませんが総務費の職員研修費で対応できないか検討しています。

・教育費

問 荒川総合体育館と朝日総合体育館の耐震改修工事の見通しは。

答 スポーツ施設や学校教育施設を含め、教育委員会として整備計画は令和元年度中に策定する予定ですが、公共施設全体の中で、整備計画を具体化していかなければならないと考えています。

◆条例制定 1件

◆条例改正 1件

◆市有財産の譲渡 3件

元年度特別会計補正予算

◆情報通信事業特別会計

2年度特別会計予算

◆土地取得特別会計

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

・地方特例交付金

2年度一般会計予算

【歳入】

問 消防職員の不祥事が続きましたが、コンプライアンスやガバナンスに関する研修等を実施する計画は考えていま

市民厚生

◎渡辺 昌○河村 幸雄
尾形 修平 大滝 国吉
平山 耕 稲葉久美子
木村 貞雄 長谷川 孝
鈴木 一之

元年度一般会計補正予算

〔歳入〕

・諸収入

問 プレミアム付商品券事業商品券販売収入について、今回利用が40%に留まった理由は。

答 第一に、申請して引換券を交付してもらい、それを郵便局で商品券を購入する流れであり、購入手続きが煩雑であったこと。もう一つは、2万円で2万5000円の商品券を購入する形ですが、その2万円を用意すること自体が大変であったと考えられます。

〔歳出〕

・民生費

問 老人ホーム運営経費について、指定管理料の減額は入所者の大幅な減少のためとのことですが、見込みの人数と、

実際の減少数は。

答 当初は50人を見込んでいましたが、現在は12人減少し38人となっています。

2年度一般会計予算

〔歳入〕

・国庫支出金

問 生活保護費が増えているとのことですが、該当世帯と人数は。

答 昨年12月現在458世帯、611人です。

〔歳出〕

・総務費

信号機設置 要望の対応は

問 県議会では信号機の要望に対する県の対応についての議論がありました。本市では信号機の設置要望に対応できていますか。

答 町内や集落から、信号機や横断歩道設置の要望が全体で10件くらい、本市においては、ここ数年1〜2カ所程度しか県の予算がついていません。

問 交通安全指導員のなり手がいないと聞いていますが、今現在何人いますか。また、

後継者の育成は。

答 現在5地区合わせて35人で、75歳以上の方が4人います。

社会的には高齢者の運転免許証の返納や交通事故防止の取り組みの観点から定年制を設けるべきか検討しているところですが、指導員のやる気も大事であり、ご本人の意思も確認しながら定年制を設けるか判断していきたいと思っています。

問 国では令和4年度には国民全員が個人番号カードを持

つように取り組んでいくとのことですが、何らかのメリットがないと進まないと思います。市としての取り組みは。

答 国では個人番号カードのさまざまな活用を目指しており、来年3月からは保険証としての利用や、今年夏頃からキャッシュレスサービスを活用している方に対して、最大で5000ポイント（5000円相当）を付与するマイナポイント制度が始まる予定です。市としても、国

施策に沿いながら活用を検討していきたいと思っています。

・民生費

問 「生きづらさを抱えている方の居場所づくり」の取り組み内容は。

答 村上桜ヶ丘高校の同窓会館を借用し、週2回開催します。その場で何かをするというのではなく、家から出て少しでも他の方と話をすることを目的としており、社会福祉協議会に事業を委託します。

問 生活困窮者自立支援事業の具体的な事業の内容は。

答 生活保護に至る前に何とか立て直しをする重要な事業であり、家計の相談支援、子どもの学習支援、就労準備支援、自立相談などを行っています。

問 閉校となる神納東小学校の校舎を子育て支援施設として利用する計画の状況は。

答 子ども・子育て支援事業計画には、子どもの遊び場の確保など今後事業を進めていくこととしていますが、現在、子育て支援に係る施設の

設置について内部で協議を進めている段階です。

◆条例改正 6件

◆条例廃止 2件

元年度特別会計補正予算

◆後期高齢者医療特別会計

◆介護保険特別会計

2年度特別会計補正予算

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

◆介護保険特別会計

以上を中心に審査しました。



交通安全指導員に見守られ登校

経済建設

◎川村 敏晴 ○小田 信人
川崎 健二 山田 勉
本間 善和 竹内喜代嗣
小林 重平 大滝 久志

◆村上市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について

問 今回の上下水道事業審議会の答申について、水道メーターの口径の大小にかかわらず従量料金の単価を統一するということですが、その結論に至った経緯は。

答 これまでの水道料金は、大口径であれば管路整備や施設への負担に経費が掛かること等から口径別で料金が設定されてきましたが、ほぼ全国的にも整備が終わり、これからは維持管理に経費負担が移る時代となりました。現在では少子高齢化で水道使用量が減少していることもあり、今後は大口需要家からもっと水道水を使ってほしいとの趣旨もあり、統一単価としたものです。

元年度一般会計補正予算

【歳出】

・土木費

問 今年の冬は少雪ですが、除雪費を減額補正しない理由は。

答 少雪の状況となつていますが、減額補正についてはギリギリまで待とうと、財政当局とも協議して今回の補正予算には計上しませんでした。

問 少雪のため除雪の仕事をないということで、道路維持

いるが、理由は。

答 令和元年度の入館者は3月4日現在で4万1833人、昨今外国人客数が減つてきていることから、約4万2千人と見込んでいるためです。

【歳出】

・農林水産業費

問 有害鳥獣対策経費の予算額が前年度並みですが、猟友会会員も減少し、また、最近イノシシの目撃情報や被害が出ています。もっとしっかりとした対策をとるべきではないですか。

いですが。

答 今まで生息していなかったイノシシもどんどん増えており、農作物被害は相当あると予測されます。何よりも農家の方々が苦勞して作ったものが、収穫段階で被害を受けることは、営農意欲の低下と農業所得の減収をもたらす由々しき問題です。国・県の制度活用も含めて、もっと踏み込んだ対策を取っていきたいと思います。

2年度 特別・事業会計予算

◆蒲萄スキー場特別会計

問 今年のように少雪の場合の報酬の支払いはどのようになりますか。

答 除雪作業員の待機料等を参考に、これまでと同様に日額の3割分の支払いを想定しています。

問 グレンデの草刈業務委託料が、昨年より60万円増えています。その理由は。

答 例年、朝日地区の猟友会

水道料金改定その根拠は

の方々に低料金でお願いしてきましたが、新年度からは対応ができないとのことなので、業者からの参考見積もりを基に計上しました。

◆上水道事業会計

問 緊急修理待機委託料として約1200万円が計上されていますが、当番制で対応を委託しているのですか。

答 年間および休日夜間を含め、山北、村上、荒川の3管工事組合に委託しています。

◆下水道事業会計

問 下水道使用料が改定され、

料金が上がる村上地区、朝日地区、山北地区の水洗化率が低下することが懸念されますが、対応は。

答 上下水道事業審議会でもあまりにも料金が高くなると下水道接続の阻害要因になる恐れがあると指摘がありました。支所単位で加入率の低い地域へ出向いて戸別訪問を行います。

◆条例改正 7件

元年度 特別会計補正予算

◆下水道事業特別会計

◆集落排水事業特別会計

2年度 事業会計予算

◆簡易水道事業会計

以上を中心に審査しました。



昨年2月から運転開始した荒島浄水場

(注) 令和2年度から地方公営企業法を適用する事業が変更となり、下水道事業特別会計と集落排水事業特別会計が統合されて「下水道事業会計」に、簡易水道特別会計は「簡易水道事業会計」となります。

令和2年第1回定例会 議決結果

令和2年第1回定例会が、2月25日から3月19日までの24日間の会期で開催され、市長側提案59件、議会側提案の報告2件、請願1件、議員発議3件を議決し、閉会しました。

議案審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
請願第1号	免税軽油制度の継続を求める請願書	採択	全会一致	議第27号	村上市集落集会所施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議員発議第1号	村上市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第28号	村上市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議員発議第2号	県立坂町病院の活性化を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第29号	村上市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議員発議第3号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第30号	村上市青少年健全育成センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第1号	村上市監査委員の選任について（小田 健司：新任）	原案同意	全会一致	議第31号	市有財産の譲与について（間瀬集落センター）	原案可決	全会一致
議第2号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について（村山 誠：再任）	原案同意	全会一致	議第32号	市有財産の譲与について（上中島集落センター）	原案可決	全会一致
議第3号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について（高橋 賢一：再任）	原案同意	全会一致	議第33号	市有財産の譲与について（下新保集落センター）	原案可決	全会一致
議第4号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について（斎藤 誠：再任）	原案同意	全会一致	議第34号	村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第5号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について（板垣 正人：新任）	原案同意	全会一致	議第35号	村上市家庭児童相談室設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第6号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について（佐藤 義信：新任）	原案同意	全会一致	議第36号	村上市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第7号	村上市教育委員会委員の任命について（大滝 豊：再任）	原案同意	賛成多数 (無記名投票)	議第37号	村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第8号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田島 一郎：再任）	原案同意	全会一致	議第38号	村上市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第9号	専決処分の承認を求めることについて(専第1号 令和元年度村上市一般会計補正予算(第10号))	原案承認	全会一致	議第39号	村上市人権教育・啓発推進計画策定委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第10号	令和2年度村上市一般会計予算	原案可決	賛成多数	議第40号	村上市ホームヘルパー派遣に伴う費用徴収条例を廃止する条例制定について	原案可決	全会一致
議第11号	令和2年度村上市土地取得特別会計予算	原案可決	全会一致	議第41号	朝日まほろば温泉配湯条例を廃止する条例制定について	原案可決	全会一致
議第12号	令和2年度村上市情報通信事業特別会計予算	原案可決	全会一致	議第42号	村上市里道等管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第13号	令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算	原案可決	全会一致	議第43号	村上市河川管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第14号	令和2年度村上市国民健康保険特別会計予算	原案可決	賛成多数	議第44号	村上市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第15号	令和2年度村上市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	賛成多数	議第45号	村上市合併処理浄化槽設置整備事業に係る個別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第16号	令和2年度村上市介護保険特別会計予算	原案可決	賛成多数	議第46号	村上市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第17号	令和2年度村上市下水道事業会計予算	原案可決	賛成多数	議第47号	村上市集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第18号	令和2年度村上市簡易水道事業会計予算	原案可決	賛成多数	議第48号	村上市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第19号	令和2年度村上市下水道事業会計予算	原案可決	賛成多数	議第49号	村上市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第20号	関川村との定住自立圏形成協定の変更締結について	原案可決	全会一致	議第50号	令和元年度村上市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	全会一致
議第21号	栗島浦村との定住自立圏形成協定の変更締結について	原案可決	全会一致	議第51号	令和元年度村上市土地取得特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議第22号	村上市市跡村上城跡整備委員会条例制定について	原案可決	全会一致	議第52号	令和元年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議第23号	村上市市跡平林城跡整備委員会条例制定について	原案可決	全会一致	議第53号	令和元年度村上市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	全会一致
議第24号	村上市村上祭保存修理委員会条例制定について	原案可決	全会一致	議第54号	令和元年度村上市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
議第25号	村上市ほう賞条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第55号	令和元年度村上市集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議第26号	村上市行政不服審査関係手数料条例及び村上市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致				

※網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた等の網掛けの議案について、議員の賛否公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の会計責任者

議案番号	鷲ヶ巣会							新政村上					清流会					高志会			市政クラブ		日本共産党		高田晃	嵩岡輝夫	賛否結果					
	◎板垣一徳	*渡辺昌	大滝国吉	小田信人	鈴木いせ子	本間善和	河村幸雄	◎長谷川孝	*大滝久志	山田勉	佐藤重陽	木村貞雄	◎川崎健二	*平山耕	※1三田敏秋	小林重平	鈴木好彦	◎尾形修平	*小杉武仁	鈴木一之	◎川村敏晴	*小杉和也	◎竹内喜代嗣	*稲葉久美子			賛成	反対				
議第7号	※3														※2	－	※3														23	1
議第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	23	2				
議第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	23	2				
議第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	23	2				
議第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	23	2				
議第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			
議第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			
議第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	23	2			
議第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	23	2				
議第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			
議第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			
議第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			
議第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1			

※1 議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。

※2 平山 耕議員は欠席したため表決に参加しませんでした。

※3 表決の方法を無記名投票としたことから賛否の表示を行うことができません。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	付託委員会	審議結果
免税経由制度の継続を求める意見書の提出について	北陸信越山岳観光索道協会 新潟地区部会 部会長 峠 重幸	鈴木いせ子 渡辺 昌 鈴木 好彦	総務文教 常任委員会	採択

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

陳情の審査結果

件名	陳情者	所管委員会	審査結果
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	新潟県労働組合総連合 議長 佐藤 一弥	経済建設常任委員会	意見の一致を見なかった

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員会全員の了承で、願意了承となります。

監査委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：令和2年6月5日～6年6月4日)

小田 健司 氏(新任)

教育委員会委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：令和2年5月21日～6年5月20日)

大滝 豊 氏(再任)

人権擁護委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：令和2年7月1日～5年6月30日)

田島 一郎 氏(荒川地区・再任)

固定資産評価審査委員会委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：令和2年5月20日～5年5月19日)

村山 誠 氏(再任)
高橋 賢一 氏(再任)
斎藤 誠 氏(再任)
板垣 正人 氏(新任)
佐藤 義信 氏(新任)

意見書

- 県立坂町病院の活性化を求める意見書
- 免税経由制度の継続を求める意見書

以上の意見書が第1回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

可決 議第10号 令和2年度村上市一般会計予算

この議案は、令和2年度一般会計の当初予算です。予算規模は321億円で、新村上総合病院移転新築に係る周辺道路整備と厚生連への補助金、防災減災事業を活用したため池防災対策事業、岩船保育園改修工事のほか、胃がんリスク健診実施経費など人口減少対策や防災対策などの各種課題の解決に向けた選択と集中により、前年度比△1.4%、4億6,000万円の減となりました。

本議案は次の討論の後、賛成多数により可決されました。

反対討論 稲葉久美子 議員

新型コロナウイルス対策費を市独自の取り組みとして予算化しなかったこと。全国一斉に学校を休校、仕事にも出て行けない状況の中で今後の生活、商売がスムーズに進むとは考えられません。市民の生活と健康を守るために、また中小企業、個人事業者の生業がスムーズに取り組むことができるように、市独自の予算を組み入れ、国の対策と合わせて安心できる令和2年度の予算組みとすることが必要と考えます。

賛成討論 小林重平 議員

地震、台風、豪雨など未曾有の災害が続く中、橋梁の長寿命化修繕は災害を未然に防ぎ、地域林業活性化事業の開始は国土保全に大きな役目を果たします。未満児保育や病児保育の整備、4月開所の民間保育事業所への支援等の子育て支援、高齢者が住み慣れた地域で充実した生活ができる各種取り組み、健診結果等に基づく疾病予防の取り組み継続は早期発見早期治療につながり、人生100年時代に向けた取り組みであると高く評価します。

反対討論 竹内喜代嗣 議員

①職員給与は、昇任していくに従い格差是正を行い、理事者は、誠意を持って交渉に当たることが必要です。②スクールバスなどの運転委託契約は、派遣法の留意事項と内閣府の通知などから照らして疑問を感じます。③福祉施策については利用者の尊厳を守る福祉の心で実施することが必要です。④今求められているのは、一般会計からの繰り入れで国保税の引き下げや学校給食費補助など暮らし応援です。以上4点を理由として反対します。

可決 議第14号 令和2年度村上市国民健康保険特別会計予算

この議案は、令和2年度国民健康保険特別会計の当初予算です。予算総額は62億700万円で、被保険者数の減少等による保険給付費の減などが主な要因となり、前年度比△3.2%、2億550万円の減となりました。

本議案は次の討論の後、賛成多数により可決されました。

反対討論 稲葉久美子 議員

公立・公的病院の統廃合という政府の方針は医療費の削減をさらに進めようとするものです。しかし、いつ何が起こるかもわからない自然災害の経験からも、生活と健康を守る施策が重要です。年金受給額2カ月約14万円から国保税、介護保険料や公共料金を支払い生活するのは大変です。誰もが安心して生活ができる国民健康保険制度であってほしいと思います。医療費がかさむからといって国保税を値上げすることは理解できません。

賛成討論 小林重平 議員

私は、「我が国の保険制度は、共に支え、支えられ、助け合う制度である」と言い続けてきました。しかし今、国民の医療費が52兆円になっていることが問題となっており、このままでは保険制度、医療制度が崩壊しかねません。本市でも医療費の適正化に取り組み、市は皆さんに元気で人生100年に向かい生きてほしい、そして担当課では、いろいろな事情があって通院できない方の相談に乗ってくれます。市民の健康を願い賛成します。

活性化プランに議員が参画

村上中等教育学校

村上市議会では、前年度に引き続き村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、市内4つの高校・中等教育学校に議員が出向き、「高校生と議会の懇談会」を実施しました。1月28日には、4校のうち最後の開催となった村上中等教育学校にて、同校5年生69人が地域学習などを通じて磨き上げてきた地域創生ワークショップ「10年後の村上市」の総仕上げに参画する形で懇談会を行いました。

議会からは7人の議員が参加。学校からは、生徒に対するアドバイスのポイント（議員として本市の現状を踏まえた現実的目線で情報や意見を提供）について事前説明があり、議員それぞれがグループ討議中の各班にアドバイスを行いました。

まとめられた11の企画は、伝統文化や特産品などの地域資源を活用するもの、空き家や高齢化・過疎化などの弱みを強みに変えるもの、インバウンドや交流人口の拡大を図るものなどさまざまな視点から作成され、議員からは、「非常に具体的で実現可能な企画内容。生徒たちが村上に戻ってきたときに1つでも2つでも

実現できるように、議会として取り組んでいく」との講評がありました。

紙面の都合により、提案タイトルのみ紹介します。▼もう一度村上へ▼住んでみよう村上の町屋▼おしゃざり、ひいてみれつしゃ▼村上から世界へ、世界から村上へ▼村上の味をおいさん、おばあさんの家で。▼つながる個性つなげる世代▼村上城復元▼新潟のシンボルになろう！▼グルメストリート▽笹川流れ▼行ってみたいが見つかる。村上探訪▼grow your inspiration in MURAKAMI city



改革の検討結果がまとまる

議会改革調査研究特別委員会 最終報告

議会改革調査研究特別委員会は、議会基本条例を基に議会改革等について調査・研究することを目的として、平成28年9月に設置（委員定数11人）されました。平成30年3月には1回目の中間報告を、平成31年3月には2回目の中間報告を行い、最後となる第28回の開催において検討結果がまとまり、令和2年3月議会で最終報告を行いました。

同委員会は、当初、検討期間を平成30年3月までとしましたが2年延長し、会議は話し合いによる全会一致に努め、議会基本条例の規定に沿って同条例の内容の見直しを含めて、現状と比較検討し取り組んできました。また、市議会ホームページを活用して市民の皆さんからご意見を求め、議員定数と議員報酬の検討では、議会外部の方に協議を依頼し、その答申内容を基に検討してきました。

これまでの検討結果につきまして、「正副議長体制」「議員の身分」「政務活動費の透明性の確保」などについては、平成30年5月発行の議会だよりで、「議員の政治倫理」「議員定数」「議員報酬」につきましては、

令和元年5月発行の市議会だよりで中間報告内容を掲載しましたのでご参照ください。

なお、中間報告後の検討結果につきましては次のとおりです。議会基本条例の下、第4期の村上市議会において議会活性化の議論を深めていくことを希望し、この最終報告をもってその役目を終えました。

【報酬の検討】

・議員報酬の改定については、今期は議会の活性化を図るための方策を検討することとし、次期において先の検討結果やその資料等を添えて、市の特別職報酬等審議会での審議を願うこととした。

【委員外議員の発言】

・常任委員会での議案審査で、委員外議員の発言を認めていましたが、会議規則第117条との整合を図り、認めないこととした。

【関連質問以外】

・委員会中の議案審査にかかる質問以外の発言については、会議規則第116条第1項に規定する「議題外」であり、委員会協議会の場で取り扱うこととした。

市議会では、定例会の会期が終了すると各常任委員会に分かれ、行政課題など各所管事項について調査しています。

市政をチェック!

閉会中事務調査



村上総合病院に併設される救急ワークステーションについては、現在2班制の勤務体制から3班制へ改善し、救急車1台と3人体制の配置になります。

本来は消防本部で待機している救急車を、病院に常駐させることで素早い対応が可能になるのに加え、医療関係者との連携がスムーズになることから、開設に至る期待度は高まり、市民の安心感にもつながると思います。今後にも注視していきます。

総務文教常任委員会
人命を救う要となる



地域若者サポートステーションは、15～39歳の若者の就労支援を行う、厚生労働省の就労的自立支援事業の一環で認定された団体です。「相談できる人がいない、今の生活を変えたい、誰かと話したい」、その気持ちにこたえ、丁寧な話を聞いてくれる場所があることは心強いことです。

引きこもりの方からの相談には福祉分野との連携も図られており、今後の取り組みが期待されます。

市民厚生常任委員会
就労の悩みや不安
解消へ



新年度から「笹川流れ夕日会館」の指定管理者となる笹川流れ観光開発の関係者の皆さんに運営方針や提案内容についてお聞きしました。

笹川流れを中心とした地域の活性化、地元食材・商品の活用を最優先に取り組む方針について期待を持ちました。

また、買い物困難者対応として生活必需品や食料品の販売などは、意欲的な取り組みだと思いました。冬の閑散期の取り組みが今後の課題であり、注視したいと思います。

経済建設常任委員会
「夕日会館」
地域の拠点に

委員会	調査日	場所	調査内容
総務文教常任委員会	2月10日	村上市消防本部3階講堂	地域防災と消防団について 村上総合病院併設救急ワークステーションについて 消防設備と職員の人員配置について 消防庁舎設備視察
市民厚生常任委員会	2月3日	下越地域若者サポートステーション村上常設サテライト	地域若者サポートステーションの現況調査
経済建設常任委員会	2月4日	村上市役所第1委員会室	笹川流れ観光開発の今後の運営について 公営企業会計の経理の仕組みについて



広報特別委員会委員が
おじゃましました！

漁業を未来へつなぐ

いとう はじめ
伊藤 一 さん（浜新保）



小さい頃は目の前に広がる海で遊ぶのが大好きで、浜辺で遊ぶよりも海女さんだった祖母と海で貝を採って喜んでいました。

海が身近で遊び場だった幼少期は、憧れていた親戚の兄ちゃんが漁師だったことで、漁船に乗せてもらうことが多くあり、いつの日か漁師になるのが夢となって、糸魚川市にある県立海洋高校に進学して専門的な知識を学びました。

卒業後は地元へ帰り漁師の道を歩み始めてから9年となりましたが、夢を叶えた先に待っていたのは新たな挑戦の連続であり、一人前の漁師を目指して今でも勉強の日々です。

漁業は自然を相手にする仕事なので、これまで

長く海と漁師を守ってきた地元水産業を未来につなげるためにも大切にしたいと感じていますし、若い世代が協力し合って水産業の活性化が図られるよう取り組んでいきたいと考えています。

あっという間に駆け抜けてきた9年間でしたが、共に働く仲間たちと協力しながら漁業を守り、日頃から一番近くにおいて支えてくれる、妻と子どもたちを大切にしたいと思います。

今の目標は家族同様に面倒をみてくださる親方へ恩返しができればと思っていますが、さまざまな人との繋がりで得た経験を若手漁師育成に活かし、漁業を盛り上げたいという決意です。

新型コロナウイルス感染症の不安軽減 に向けた取組を申し入れ



議長と副議長は議会を代表して、4月10日に市長に対し新型コロナウイルス感染症の影響による市民および市内事業者の不安軽減に向けた取り組みを求める申し入れを行いました。

■申し入れ事項

- 1 地域経済への影響を最小限に抑えるため、必要な時期に有効な対策を的確に講ずるよう、そのための補正予算を早急に編成すること
- 2 市内事業者向けの総合相談窓口等を市役所内に設置し、商工会議所・商工会等と連携しその経営を下支えするとともに、生活及び精神面からも支えるよう支援すること
- 3 新型コロナウイルス感染症対策における国の緊急経済対策が実施される中、必要とされる組織体制の整備に努めること

令和2年 第2回定例会のお知らせ(予定)

5月26日(火)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
6月9日(火)	定例会初日（本会議）
11日(木),12日(金) 15日(月),16日(火)	一般質問（本会議）
17日(水)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
18日(木)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
19日(金)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
24日(水)	一般会計予算・決算審査特別委員会
29日(月)	定例会最終日（本会議）
* この日程は変更されることがあります。 * 開会時間は午前10時です。	

市民の力を希望に変えて